

◆教科等研究グループ各部会からの報告

戸田市立教育センター教科等研究グループ（教育センター研究員）は、教師としての資質・指導力の向上と、戸田市の教育の充実を目的として研究を推進しています。本年度は12部会が研究に取り組みました。また、Education Weeksの中で、まとめの動画を作成し、市内全教職員が自分の興味のある部会の動画を視聴しました。

国語・リーディングスキル部会

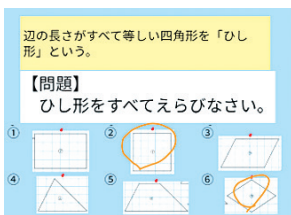
児童生徒が主体的に学ぶ授業づくり
～汎用的読解力の育成を通して～

■研究内容

- ・RSを高めるための取組
- ・RSの視点を取り入れた授業研究
- ・RSノートの実践

■研究成果

- ・RSの視点を意識することのよさがはっきりしてきた。
教師：児童生徒に何を身に付けさせるか、何を考えさせるかを明確にすることができる。
児童生徒：教科書等の記述を基に考えを深めたり学習内容の理解を確かなものにしたりすることができる。
- ・研究を通して、主体的・対話的で深い学び、そして子供を主語にした学びにつながる道筋が見えてきた。



社会部会

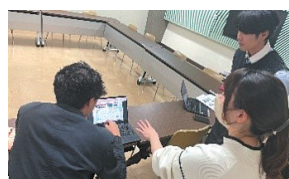
多角的・多面的な視点を働かせ、子供たちが
自ら学びに向かう社会科の授業づくりを目指して

■研究内容

- ・多角的・多面的な視点を働かせるための手立て
- ・子供が主体的に学ぶ社会科の授業実践
- ・長野県の授業づくり（長野県長期研修教員より）

■研究成果

- ・子供たちの疑問から学習問題を立て、学習の過程で協調学習を取り入れることで自ら課題意識をもって、主体的に学習に取り組む姿が見られた。
- ・視点を意識した発問を行うことで、次時への気付きを与え、調べ学習や発想への深化を促すことに繋がった。
- ・資料を複数回に分けて提示し、それらを比べることで、多角的に読み取る力を養うことができた。



算数・数学部会

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり
～算数・数学科における効果的なICTの活用～

■研究内容

- ・算数・数学科におけるICTを活用した授業実践
- ・算数・数学科におけるICTの効果的な活用
- ・算数・数学科におけるICTを活用する場面の選択

■研究成果（ICTを効果的に使うことで）

- ・【主体的】児童生徒一人一人が自身の問題解決の思考過程を振り返り、検討することができることで、課題に対する意欲の向上が見られた。
- ・【対話的】思考過程の『見える化』を図ることで、自然と「比較」や「整理」の視点で考え、対話・協働する様子が見られた。
- ・【深い学び】自己の内面を見つめること、情報を正確に理解し、独自の視点で問題を考え、解決する様子が見られた。



理科部会

理科×○○＝楽しさ

～子供一人一人が「楽しさ」を味わう理科授業を目指して～

■研究内容

- ・研究員が理科の授業で行う上で大事にしていることをベースとしたテーマを設定し授業を実践する。
- ・研究員の思いを包含したものとして、今年度は子供一人一人が「楽しさ」を味わうことをキーワードとした。

■研究成果

- ・「探究」「気づき・疑問の連続性」「ICTの活用」「自由進度学習」さまざまな視点から理科の学びにおける「楽しさ」について深めることができた。
- ・理科を学ぶ「楽しさ」は子供の発達段階だけではなく、一人一人の願いや思いに寄り添い、探究の過程を意識した単元をデザインすることで味わわせることができた。



体育・保健体育部会

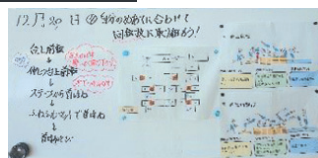
アクティブ・ラーニング指導用ルーズリック を活用した主体的・対話的で深い学びの実現

研究内容

- ・運動好きな児童生徒を増やすことを目的とした、『戸田市版アクティブ・ラーニング指導用ルーブリック』を活用した体育授業での手立てについての研究

■研究成果

- ・運動好きな児童生徒を増やすために、場の設定や学習形態、ルール工夫など、ルーブリックの様々な視点から授業改善を行うことができた。
- ・特に運動が苦手な児童生徒に対しての手立てとして、スモールステップの場づくり、自ら思考・判断する課題解決の方法、特性や魅力を味わわせるルールの工夫などについて、協議を通して考えを深めることができた。



外国語・外国語活動部会

身近なものや環境を生かした 英語活動の場面設定の工夫

研究内容

- ・身近なものや環境を利用して目的・場面の設定をし、コミュニケーション力を高める実践の研究を行う。
- ・ICTを活用した授業実践例の共有や教具の工夫を行う。

■ 研究成果

- ・季節の行事や、身の回りに起きている出来事を取り扱い、校内や外国などの様々な相手と交流することで、目的を明確化した言語活動を行うことができた。
- ・他教科等で学習した内容を受けて、英語の授業を組み立てるなど、教科等横断的な実践を行うことができた。
- ・昨年に引き続き、ロイロノート市内共有フォルダのデジタル教材を充実させ、共有を行った。



道德部会

多面的・多角的な思考を生み出す
発問の工夫と本音で議論できる授業づくり

研究内容

- ・ 自己を見つめる発問と切り返しの発問の工夫
- ・ 本音で議論できる環境づくり
- ・ 振り返りの工夫と視点を示す

■ 研究成果

- ・自分の意見を積極的に伝える児童生徒が増えた。
- ・ロイロノートのカードの色分けをすることで、心情の変化を視覚的にし、話し合いを進めることができた。
- ・教材だけでなく、児童発信の課題を取り上げることで意欲的に考える児童生徒が多かった。
- ・自分自身の経験と照らし合わせ、当事者意識をもって参加する児童生徒が多くなった。



特別活動部会

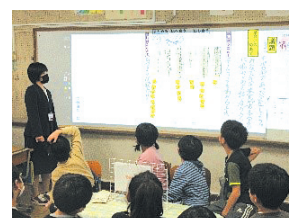
多様な意見を認め合い、 主体的に話し合う学級活動（１）

■ 研究内容

- ・児童生徒が主体的に意見を出し合ったり比べ合ったりできるようなICTの活用方法
- ・よりよい合意形成の仕方やその積み重ね方

研究成果

- ・ロイロノートやオクリンクを使って意見を共有することで、どの児童も意見をもって話し合いに参加したり、互いの意見のよさを見つけながら話し合いを進めたりすることができた。
- ・毎回の話し合いで身に付けた合意形成の仕方を掲示したり、振り返ったりして話し合いを積み重ねることで、児童生徒が活用しながら「自分もよくてみんなもよい」意見にまとめる姿が見られるようになった。

[illegible]

生活・総合的な学習の時間部会

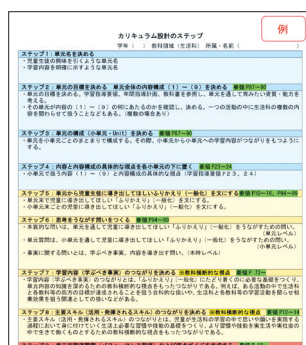
生活科・総合的な学習の時間の 単元計画づくりとカリキュラム・マネジメント

■研究内容

- ・生活科・総合的な学習の時間の目標及び内容や内容の取扱いへの理解を深める。
- ・単元計画の作成及び授業実践

■研究成果

- ・学習指導要領解説編の読書会を行うことで、生活科・総合的な学習の時間の目標や内容、内容の取扱いについて理解を深めることができた。
- ・「カリキュラム設計のステップ」と「単元プランシート」を作成することで、児童生徒に育みたい資質・能力と単元末の児童生徒の具体的な姿を明確にしながら、単元計画の作成及び授業実践ができた。



特別支援教育部会

子供たちの学びたい気持ちを育む 主体的な授業づくり

■研究内容

- ・市内各校からの自立活動等の実践事例の紹介と共有
- ・児童の主体的な活動を育む授業づくり（研究授業）

■研究成果

- ・小、中学校それぞれの実態や授業の様子、自立活動における教材の工夫、また野菜作りや販売などの授業実践を動画などで共有することができた。そして、自校の授業や活動の中に取り入れることができた。
- ・子供たちが「自分で選択して活動する」場面を増やし、責任をもたせることができた。また、授業だけでなく、日常生活の中でも「自分で選択して進んで取り組む姿」が増えた。



PBL・STEAM 教育部会

子供が主体的に活動するPBLの創造 ～現実社会とつながり、子どもの意欲が 継続するホンモノのPBLとは～

■研究内容

- ・子供が主体的に活動し、社会とつながり、意欲を継続するPBLの在り方の研究
- ・PBLの最先端の知見を有する講師から学ぶPBL設計の在り方の研究

■研究成果

- ・市内小学校実践の発表を通して、子供たちが主体的に活動するPBLでの企業との連携や設計の在り方について、共有することができた。
- ・「子供が主体的に活動するPBL」（立命館小 正頭英和氏）をテーマに講演いただき、経済活動を含めた現実社会とつながるPBL（カリキュラムデザイン）について知見を得て、小中学校のPBL実践のさらなるホンモノ化に結び付けた。



ICT・プログラミング教育部会

やってみよう・広げてみよう・深めよう

■研究内容

- ・教師自身のスキルアップに合わせたICTの効果的な使い方の研究
- ・指導方法のブラッシュアップを目的とした実践共有
- ・ICTに関わる様々な視点からの対話

■研究成果

- ・児童生徒の「こうしたい!」という思いを実現するための1つの文具として、ICTの活用を考えることができた。また、デジタルとアナログのよいところを考え、学習者と指導者の選択肢を増やすことができた。
- ・学年や校種、ICTの得手不得手、児童生徒、保護者、推進者等の視点から、ICTとの関わりについて知見を深めることができた。

